

やまなみ工房に通う人々には、それぞれに「これをするだけで私は幸せである。」があるといいます。そして、鉛筆やマーカー、墨汁などによる描画、粘土や紙を使った造形、刺繍を始めとする糸や布を素材とした作品など、それぞれの人が自分の好きな素材や得意な技法で表現活動を行っています。アール・ブリュット再考の3回目となる今回は、「それぞれ」に注目し、その多様性について改めて考えてみたいと思います。やまなみ工房は、作品に表れるその人の本質を大切に、感性や豊かさについて考え、それぞれの可能性、そしてHappyが無限に広がることを目指すとしています。それぞれの人が自分らしく過ごす日々の中から生み出した多様な色やカタチをご覧ください。

**やまなみ工房について** やまなみ工房は、社会福祉法人やまなみ会が1997年7月に開設した滋賀県甲賀市甲南町にある生活介護、就労継続支援B型事業の障がい者多機能型事業所です。現在80名余の利用者さんが在籍しています。粘土や絵画に取り組む「アトリエころぼっくる」、刺繍や絵画に取り組む「こっとん」、健康のため散歩や運動に取り組む「ぶれんだむ」、メンテナンス作業を中心に取り組む「もくもく」、古紙回収をはじめ様々な活動に取り組む「たゆたゆ」、カフェを営業する「hughug」の6グループに分かれて活動をしています。また、ギャラリー（gufguf）も併設されており、施設で制作された作品が展示されています。ここから生み出された作品は、国内外で高く評価されており、スイスのアール・ブリュット美術館をはじめ、各地の美術館に收藏されています。



## 講演会

「すべては幸せを感じるために～やまなみ物語～」

講師：山下 完和

2020年2月23日[日] 14時～15時30分

県立二十一世紀館イベントホール(1F)

申込不要 | 入場無料 手話通訳・要約筆記有り

山下 完和 やました まさと  
1967生まれ 三重県伊賀市在住  
社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房施設長

高校卒業後、様々な職種を経た後、1989年5月から、障がい者無認可作業所「やまなみ共同作業所」に支援員として勤務。その後1990年に「アトリエころぼっくる」を立ち上げ、互いの信頼関係を大切に、一人ひとりの思いやペースに沿って、伸びやかに、個性豊かに自分らしく生きる事を目的に様々な表現活動に取り組む。2008年5月からはやまなみ工房の施設長に就任し現在に至る。



## 公開制作

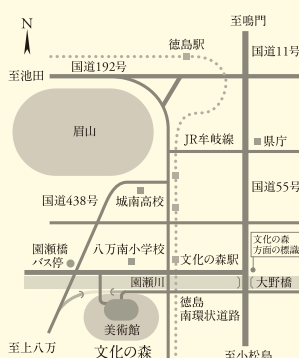
2020年2月22日[土]、23日[日] いずれも11時～12時、14時～16時  
美術館ロビー(2F) ※作家の体調等により実施できない場合があります

## 展示解説

2020年2月16日[日] 14時～15時30分

展示会場(2F)

申込不要 | 入場無料 手話通訳・要約筆記有り



## 会場のご案内

JR徳島駅から  
徳島市営バス「文化の森」行き  
直通バスにて「文化の森」下車(約20分)  
徳島市営バス、徳島バスにて  
「園瀬橋」下車(約20分)+徒歩(約10分)  
JR牟岐線文化の森駅からバス利用(約7分)  
「文化の森」下車徒歩(約35分)

※文化の森駅からタクシーの便はありません  
お車の場合、上八万、一宮方面からは  
南環状道路経由で  
「文化の森」にはお越しになれません。

## 徳島県立近代美術館

770-8070 徳島市八万町向寺山文化の森総合公園内  
TEL.088-668-1088 <https://art.tokushima-ec.ed.jp>